

社会福祉協議会会長あいさつ

日頃から社会福祉協議会に対して、格別のご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、ご承知のとおり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染の影響により、地域包括支援センター事業、水害発生地域リハビリーション強化等支援事業（たつやか塾）、地域の見守り活動等支援事業など社会福祉協議会の様々な事業におきまして、中止もしくは縮小して実施したところです。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。また、それに加え、7月豪雨災害では、平国地区を中心いて広範囲にわたり、土砂崩れや道路の寸断、家屋倒壊等がみられ、多くの地域で甚大な被害が発生いたしました。現在でも長期避難生活を余儀なくされておられ、言葉に言い尽くせないほどのご苦労をされており、心を痛めておるところです。

昨年の豪雨災害時には、社会福祉協議会としましても、芦北町社会福祉協議会と広域で災害ボランティアセンターを設置いたしました。ボランティアの皆さまの多大な力のおかげをもちまして、被害にあられた皆さまが少しずつ日常生活をとりもどしていく様を目にしました。住民同士の助け合いのすばらしさを感じました。10月初めには男島仮設団地建設に伴い、町より地域支え合いセンター事業を受託し、生活支援員による定期的な見守り活動を行い、相談支援・情報提供につなげていきます。

結びとなりますが、今後もより一層、町民の皆さまと一緒に復興に向けて、全力を傾けていくとともに、地域福祉の推進に努めて参りたいと存じます。

簡単ではございますが、新年度のあいさつとさせていただきます。



会長
山田 豊隆

令和3年度 主な年間行事（予定）

5月 日赤社資募集

ボランティア連絡協議会総会

7月 生活支援ボランティア養成講座（第1回）

9月 生活支援ボランティア養成講座（第2回）



10月 福祉スポーツ大会

赤い羽根共同募金

12月 お節配布事業

2月 社協会費募集

その他 福祉相談会

ワークキャンプ

生活支援体制整備事業 など



日赤募金のお願い

令和2年度・募資金額 949,500円

毎年5月から日赤募金のお願いをしております。皆様からの募金は災害時は医療支援、こころのケア、毛布などの救援物資の配布などを行い、平常時は救急法の講習普及、青少年赤十字の育成事業などに使われています。



赤い羽根共同募金

令和2年度・募資金額 1,790,614円

令和2年10月、全国一斉に赤い羽根共同募金活動が開催されました。

皆様からの募金は、津奈木町の福祉事業など地域に還元されています。また災害時の支援金としても使われています。あたたかいご支援ありがとうございました。



社協会費の報告

令和2年度会費金額 551,300円

毎年2月に各世帯へ社協会費のお願いをしております。

皆様からの会費は高齢者支援事業・地域交流事業・障がい児・者支援事業・ボランティア活動育成事業などに使われています。

社協の活動や地域福祉活動にご賛同いただき、住民同士の支え合い活動を発展・活性化していくための会費納入にご協力をお願いします。



豪雨災害からの復興計画の中の「一人ひとりの復興」を実現するため、10月に地域支え合いセンターが設置されました。



当センターは2名の職員体制で活動しています。

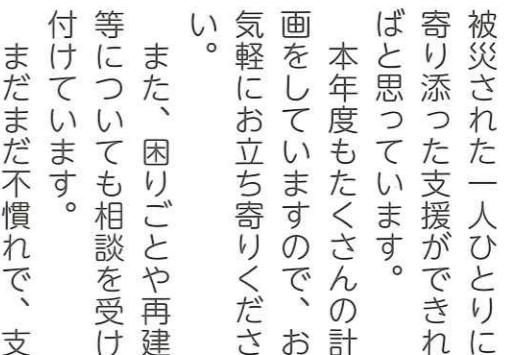
「みんなの家」では茶話会や復興リハの運動指導等を実施しています。

被災された一人ひとりに寄り添った支援ができます

当センターは2名の職員体制で活動しています。

「みんなの家」では茶話会や復興リハの運動指導等を実施しています。

被災された一人ひとりに寄り添った支援ができます



援が行き届いていないところもあると思いますが、よろしくお願いします。

連絡先 (080-8121-3984)